



SON岡山 水泳について



水泳コーチ・SON岡山相談役
小野 大作

今年の1月にSON岡山が設立されて早いもので6ヶ月が過ぎました。1クルー9人のアスリート達と、9人のコーチで始めた水泳も、やっと先般1期が終わりました。当初水に入れずプールの外を走り廻っていたA君。また、水に顔をつけるのが怖くて泣きべそをかいていたB子さん。そういった子もいれば力強く泳ぎまくるC君。そんなレベル差のある、また、年齢も小学生から25歳の成人までのアスリート達と一緒に練習させるといった無謀とも言えるスケジュール。しかし、今では皆一緒に楽しく気持ちを楽にして「SOに参加する」といった自信の持てるSOのアスリートに育ちました。

ただいま当面の目標は9月18日に開催される「SON西日本ブロック大会に参加をする」ということが、アスリートにとっても、私たちコーチにとっても大きな目標になっております。まずはこの大会に参加する。そして来年は熊本で開催されるナショナルゲーム。その上再来年に上海で開催されるワールドゲーム。次々と目標に向かって進んでいます。

これから参加される方もこういった書き方をすると尻込みをされると思いますが、SOの競技会には「デビジョン制度」というものがあり、また「15%ルール」といった非常に厳しい規則があります。これに違反するとワールドゲームになると「国外追放」処分を受ける、といった実に厳しい規則があります。これは、それぞれの能力に合ったアスリート達が互角に戦えるようにクラス分けをしたものが「デビジョン制度」。その提出した資料に、たとえば「A君は25mを53秒で泳ぎます」といった申請をした後、レースに出場。ところが実際には33秒で泳ぎきって1位になった場合は15%ルールに基づき、即刻失格、退場といった厳しいルールがあるのです。しかし水泳競技には、水中歩行競技、浮き具使用競技といったような誰にでも参加できる競技もあります。

このように誰にでも出来る、参加しやすい、しかも「国内だけでなく世界大会がある」のがスペシャルオリンピックスなのです。是非多くの知的障害者の方、またより多くのボランティアの方々の参加を望みます。



バザーの報告



8月7日(日曜日)に行われた、おかやま桃太郎まつり市民の広場出店は、スペシャルオリンピックス日本・岡山支部を市民の方々に知って頂く、良い機会でした。

当日は天気にも恵まれ、アスリート始め、30人以上の参加で大変盛り上がり、ホルモン焼うどん、かき氷は完売となり、お茶もたくさん売ることができました。

Tシャツも展示、販売し、スペシャルオリンピックスを知ってもらう為の展示やパンフレットも配りました。

材料の提供、準備、当日の手伝い、片付けと協力してくださった皆さんの頑張りの結果、10万円弱の収益があり、会場は喜びにあふれました。

この出店に関わってくださった多くの方々に感謝、感謝です。本当にありがとうございました。

そしてこれからもどうぞよろしくお願ひします。

また、笑顔の交流がたくさんあったことをつけ加えさせていただきます。

赤木 真理子